

2026.10.1

令和 8 年度 第 2 回明石市立和坂小学校校内桜守活動報告

藤原春善

- 1, 活動日時：2026 年 10 月 1 日 13 時～16 時 晴
- 2, 活動場所：明石市立和坂小学校
- 3, 活動人員：和坂小学校 {先生 2 名・小学校 3 年生 2 組・5 班}
樹木医 (3 名)、明石公園桜守ボランティア (2 名)
和坂小学校サポーター (6 名)

- 1 班 樹木医 1 名・和坂小学校サポーター 2 名 (NO②⑨①②③)
- 2 班 樹木医 1 名・和坂小学校サポーター 1 名 (NO④⑤⑥⑦)
- 3 班 明石公園ボランティア 1 名、小学校サポーター 1 名 (NO⑧⑨⑪⑫)
- 4 班 明石公園ボランティア 1 名、小学校サポーター 1 名 (NO⑬⑭⑯⑰⑱)
- 5 班 樹木医 1 名・和坂小学校サポーター 1 名 (NO⑲⑳㉑㉒㉓㉔)

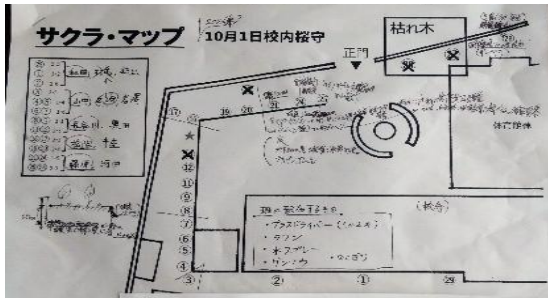
4, 内容

(1) 桜の生育状態及び土壌状態の確認

- ・20 本の桜の生育状況は、高温・大雨にもかかわらず、一部先端枯れやウメノキゴケの着生があるもののほとんどが回復傾向・良好であった。
- ・㉔のサトザクラはヒロヘリアオイラガの幼虫が 7 月に大発生し駆除したため今回は繭等の痕跡も見られなかったが、他班では数個のヒロヘリアオイラガの繭が見られた。その他、桜への被害は僅かであるがアオツヤカメムシ、キマダラカメムシ (外来種) と土壌を団粒化してくれるオカダンゴムシ、マルガタゴミムシ、ミミズなどを子供たちが確認した。
なお、クビアカツヤカミキリ (特定外来種) は確認できなかった。
- ・山中式土壌硬度計で表土を測定するとプラスドライバーによる解しにより 14～22mm の範囲に入り良好であるが、プラスドライバーの届かない深さ 25～30cm 層ではアースドリル、ダブルスコップでも無理な土壌硬度 26mm 以上 (非常に硬い礫層) で、検知棒 40cm を差し込むことがやっとであった。

(2) 割竹法の実践

1 本の桜につき 2 か所にアースドリルで穴を掘り、割竹を挿入し、腐葉土を注入した。割竹の挿入が困難なところは少し盛り土して何とか埋めることができた。これにより、透水性・通気性・保水性等の改善を進めることができた。



㊴ソメイヨシノ竹割挿入

㊴回復途上ソメイヨシノ

㊴ウメノキゴケ着生したソメイヨシノ



㊴回復途上のサトザクラ

㊴サトザクラ割竹挿入



㊴ヒロヘリアオイラガの幼虫 (7月) 土壌を肥やすマルガタゴミムシ 枝の樹液を吸引するキマダラカメムシ外来種